

# FUJI UNIV. TOPICS

## 特集 challenge

### 宅地建物取引主任者試験合格おめでとう!



私がこの「宅地建物取引主任者試験」を受験しようと思ったきっかけは、私の父の勧めからでした。私の実家は、不動産貸付業を営んでおり、私はその長男であり、父に将来必ず役に立つからと言われた事で、私はこの試験にチャレンジしてみようと思いました。この宅建という試験は毎年10月の第3日曜日が試験日に当た

相澤英寿君(4年)

り、12月3日に合格発表があります。私は、これまで過去2回この試験に失敗しており、このままではいけないと思い、水沢にある日建学院でお世話になり、3回目で合格する事が出来ました。そこで学んだことは、宅建という試験は要所をしっかりと勉強しておけば合格率がぐっと上がるということです。失敗するのは、難しいのではなく、要所を勉強していなかったということでした。だから、何か資格を目指している後輩諸君は、就職にも有効な資格であるこの宅建を目指してみたいかがでしょうか。

就職先 株式会社 青山メインランド

### 校友会活動4年間頑張りました!

荒井敏隆君(4年)



人との繋がりはあいさつから始まるのではないのでしょうか。私は、「おはようございます」、「こんにちは」という、あたり前のあいさつを心がけてきました。そのこともあり、今では良き師に、良き友に恵まれたと思います。私の大学生活は、そんな何気ないあいさつから始まる、人との結びつきによって充実したものになっていたと思います。勉学、吹奏楽部、執行委員会(学友会)アルバイトなど様々な活動に取り組み、周りの助けがあったからです。

4年前数人でスタートした執行委員会は、体育祭(現在はスポーツフェスティバル)花巻まつり、

紫陵祭、部活紹介、新入生オリエンテーション、体育会・文化会(予算折衝・部室)などを皆が兼任していました。実際には、準備や当日の運営にも事欠く状態でしたが、先生や職員の方々、学生の多くの支えがあったからこそ乗り越えることができました。その後、多くの後輩が入会し、共に大学生活をより良いものにするために、より斬新なアイデアを提案し、活気ある学生生活を目指してきました。

現在では、体育会も独自で動き出し、以前に比べれば運営形態は良くなって来ているようにも思えます。しかし、役員の人数がまたも減少し始めており、さらに直視せねばならないのが、学友会の運営自体にも周囲の関心が薄くなってきているようにも思えることです。学友会は、学生はもちろん職員や先生方と一緒に活動し、富士大学の生活向上を目指すものと私は考えています。皆が富士大学を誰にとってもより良い生活の場になるよう、皆で手を取り合えることを望んでいます。

就職先 ホテルルイズ

### 簿記検定2級合格

福島ひとみさん(4年)



昨年の教育実習で簿記を教えたのをきっかけに、実習や大学生活のまとめとして簿記の資格を取得しようと思いました。昨年11月の3級検定では、学内の簿記講座を受講し先生方の協力もあり無事合格。しかし、今回2月の2級では、簿記講座はな

独学で勉強するしかなく、しかも、アルバイトや卒業論文作成と並行して勉強しなければいけないのが大変でした。しかし、市内の図書館などへ行き、他に勉強をしている人達を見て刺激を受け、「自分も頑張らなければ」と励ましながらやることができました。結果は合格。今は努力が報われた嬉しさと信じられなさを一杯です。4月から会計事務所働くことがきまっているので、この資格を生かし頑張りたいと思います。次ぎは、税理士資格を目指します。

### 大学院生から一言 吉田康則君(修士課程1年)



富士大学大学院に一期生として入学してから一年が経ち、初めは大学院での勉学にしっかりとついていけるのか不安でした。大学院に入り学部と違ったところは、授業が少人数で行われていくところで、授業人数が一番多くて四、五人程で、少ない授業になると先生と一対一で行われているところもあります。その他、修得する単位数が学部の頃より少ないのですが、その分授業内容が難しくなっています。ゼミ内では卒論に向けて研究テーマを決め、私は斉藤国雄先生のゼ

ミで指導を受けながら、不良債権問題について、岩手の三銀行を中心にデータを集めて研究をしています。斉藤先生は以前IMFに勤めていたことがあり、先生の豊富な金融の知識から指導を受け、自分の研究を進めています。大学院では、優秀な先生方により学ぶ事の連続ですが、どの先生も熱心で優しい方々です。少人数で授業が行われているので、先生の話が聞き取りにくいということも無く、気軽に質問もでき、学ぶ環境としてはとても良い所だと思います。これから富士大学の大学院へ入ろうと考えている皆さんへ、この環境の中で大学に次いでさらなる研究・勉学に励み、そして友人との交流の機会としても、大学院をお勧めします。

### JALホルルマラソン2003に挑戦

12月14日、快晴のハワイ、ホルルで開催されたJALホルルマラソンに、本学から3名の教職員が挑戦しました。その内、千葉夕里さんが、女子参加者10,516名中77位と健闘しました。千葉さんは本学陸上部のOGで、全国都道府県対抗女子駅伝の県代表にもなった選手でしたがフルマラソンは初めての挑戦でした。また、佐々木安廣教授と教務課、陸上部監督の佐藤伴行さんも参加し、見事完走、年に負けない意気を示しました。

参加者から一言づつ感想を聞かせてもらいました。千葉夕里さん「未知の世界を、とにかく無事ゴールすることを目標に走りました。完走後は、マラソンランナーの気持ちが初めて分ったような気がしました。」



### 第3回高校生童話大賞表彰式

第3回目を迎えた『高校生童話大賞』表彰式が、平成15年12月21日(日)本学を会場に開催されました。今回大賞(金の星賞)を受賞されたのは、栃木県作新学院高校の山本晴佳さん(1年)、他、優秀賞(銀の星賞)3名、佳作8名がそれぞれ受賞されました。また、今回は惜しくも賞から漏れましたが、優秀な作品を作り上げた方々に対し、実行委員会での作品に『ノミネット作品』という名称を付け、氏名・作品名等を発表することといたしました。

今回の表彰式には、大賞・優秀賞を受賞された計4名の高校生、そして父兄の方々も出席されました。また、選考委員をはじめ来賓の方々・教職員が出席され、式は盛大に行われました。受賞者の皆さんから一人ずつ受賞の感想を述べていただきました。皆さん嬉しさを隠さず、涙を浮かべ言葉に表せない表情が出ていました。今回受賞者4名の内3名が低学年(1年生)で、1名が3年生でした。このことには、出席された方々も驚きを隠せない様子でしたが、やはり3年生の方は1年生のお手本となる一段と堂々とした挨拶でした。

式終了後には、鹿踊りを見学し、その後、宮沢賢治記念館等を見学、表彰式の一部を終了しました。



### 平成15年度 主な就職先

- 青山メインランド アクティス アピバジャパン 岩手繊維 岩手三菱自動車販売 岩手リコー ウジエスパー 永薬品商事 岡崎建材 小田島 加納化成 川辺商会 九州ノースファーム グリーンスタンプ 佐川急便 サンシティ サンメディカル 昭和印刷 白金運輸 新日本商品 常光サービス 杉沢薬品 スズキ自販岩手 セン自動車火災保険 仙台観光 セントラル開発 総合警備保障 大成社 太陽ゼネラル 富士武 日盛ハウジング 日新スズキ販売 日本生命保険相互会社 日本通運 日本デスコ 日本ユニコム ネットヨタ岩手 ネットヨタ山形 NOVA 濃飛西濃運輸 芳賀通運 東日本システム 東日本旅客鉄道 広島駅弁 文芸堂書店 平成電電 ホテルメッツ北上 ホテルルイズ 三八五流通 宮果 武蔵貨物自動車 メノガイア ヤマト 横浜タイ北東北販売 とおの松寿会 やまどり福祉会 東興学園高等学校 岩手医科大学 石越町役場 八戸商業高等学校 五所川原高等学校 五所川原農林高等学校 花泉高等学校 福島高等学校 東北ケースデング 東北マツダ 社隆印刷 西尾レントオール 西松屋チェーン

### 平成16年度学事予定表

Table with 2 columns: Month and Event. Includes dates for registration, classes, exams, and holidays from April to March.

広報 富士大学

連絡先は広報室まで 原久雄(広報室長) 井手俊一(広報室課長) 小田桐恵仁・高橋直樹・千葉夕里 E-mail kouhou@fuji-u.ac.jp この紙は再生紙を使用しております。

# FUJI UNIV. INFORMATION

## 広報

### Vol.12

大学院/経済・経営システム研究科 経済学部/経済学科・経営法学科・経営情報学科

〒025-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL0198-23-6221 FAX0198-23-5818 http://www.fuji-u.ac.jp/



## 卒業証書・学位記授与式

平成15年度第36回卒業証書・学位授与式が3月19日(金)に本学記念体育館にて挙行され、236名の卒業生がキャンパスに別れを告げました。式典には、多数の来賓、卒業生や家族の方々のことを、静かに思い起こしてほしい。この中から、実社会に飛び込んでいく、新たな希望と意欲が沸きあがっている。皆さん方は、これから、企業人、あるいは公務員として、仕事を通して、社会に貢献していくことになる。同時に、その報酬によって独立した家計を維持していくわけだ。どんな小さな企業、行政機関でも、社会に貢献しているからこそ存在しているのだ。その仕事で社会に貢献できない企業や行政機関は、統廃合されていく。組織体の仕事は、よく「時計」に喩えられる。小さな歯車1つ欠けても時計は動かない。



## CONTENTS.....

2004.3.31 発行

- 卒業証書・学位記授与式 卒業生にエールを送る 学長表彰 第3回大学院公開講座 大学入試センター試験実施 男子柔道部ハワイ遠征吉田君選ばれる 富士大スポーツ/Spring Camp トッリーター-研修会 スキー学習 校内喫煙調査 スポーツセンター利用状況 特集: challenge 第3回高校生童話大賞表彰式 平成15年度主な就職先 平成16年度学事予定表 OBから一言

## 卒業生にエールを送る

経済学科長 教授 梶村 悠 卒業おめでとう。社会人として、4月から、いよいよ出発するわけだ。小、中、高、大学と16年間の準備期間を完了し、1人前の社会人として、独立することになる。この長い期間に渡って、皆さん方を育み、慈しんでこられたご両親や家族の方々のことを、静かに思い起こしてほしい。この中から、実社会に飛び込んでいく、新たな希望と意欲が沸きあがっている。皆さん方は、これから、企業人、あるいは公務員として、仕事を通して、社会に貢献していくことになる。同時に、その報酬によって独立した家計を維持していくわけだ。どんな小さな企業、行政機関でも、社会に貢献しているからこそ存在しているのだ。その仕事で社会に貢献できない企業や行政機関は、統廃合されていく。組織体の仕事は、よく「時計」に喩えられる。小さな歯車1つ欠けても時計は動かない。



皆さん方は、これから、40~50年の長い人生を、仕事と家庭生活の両建てで過ごして行くことになる。経済学で学んだように、自由主義経済体制下では、経済変動は避けられない。これと同じように人生も大波小波、山あり谷ありの行路である。仕事に就いて、3年目、そして10年前後に、大きな壁にぶち当たると言われている。また、「桃栗3年、柿8年」という諺もある。「壁」を乗り越えるためには、「忍耐」強く努力しながら、「時間の経過」を待つということである。どうか頭の片隅に入れておいて欲しい。仕事へ果敢に挑戦し、実り多き豊かな人生を、正々堂々と胸を張って、築いていくよう期待している。 2004.3.吉日



